



2020年7月15日

各位

会社名 株式会社サイバー・バズ
 代表者名 代表取締役社長 高村 彰典
 (コード番号：7069 東証マザーズ)
 問合わせ先 取締役 和田 瑞樹
 (TEL. 03-6758-4738)

通期連結業績予想の修正及び通期個別業績予想の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年11月13日に公表しました通期連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。また、当社は通期個別業績予想を公表しておりませんが、2020年9月期の通期個別業績予想と前期実績値に差異が生じる見込みであるため、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2020年9月期 通期連結業績予想数値の修正 (2019年10月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,600	百万円 500	百万円 500	百万円 335	円 銭 91.24
今回修正予想 (B)	3,050	200	190	130	35.40
増減額 (B-A)	△550	△300	△310	△205	—
増減率 (%)	△15.3	△60.0	△62.0	△61.2	—
(ご参考) 前期実績 (2019年9月期)	2,944	433	411	276	90.39

2. 2020年9月期 通期個別業績予想と前期実績値との差異 (2019年10月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績 (A) (2019年9月期)	百万円 2,472	百万円 268	百万円 246	百万円 166	円 銭 54.22
今回発表予想 (B)	2,870	180	170	325	88.49
増減額 (B-A)	397	△88	△76	158	—
増減率 (%)	16.1	△32.9	△31.0	95.7	—

3. 修正及び差異の理由

(1) 連結業績

上場後におきまして、第2四半期までは、順調に新規顧客の獲得や既存顧客の取引額が伸長しており、とりわけ Instagram を始めとする運用型広告を扱うインターネット広告代理販売の通期業績予想に対する売上高進捗率（以下、「進捗率」という。）は、54.5%と概ね計画通りに推移しておりました。一方、株式会社 glamfirst については、主要顧客の売上減少や広告費削減に伴う売上低迷により進捗率 25.1%及びインフルエンサーサービスについては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う一部イベントの開催延期等により進捗率は 43.6%となっております。なお、第2四半期決算発表時点においては、新型コロナウイルス感染症による影響について精査中であり、通期業績予想に対する影響は織り込んでおりませんでした。

第3四半期では、新型コロナウイルス感染症により増加するオンライン需要に対応するため、

インフルエンサーLIVE 配信プランやインフルエンサーWEB 座談会プランの提供を開始し、収益獲得に努めてまいりました。しかしながら、外出自粛要請に伴いクライアント企業の店頭販売の低迷や一般消費者の需要が減退することによる広告費の削減等、広告主の広告費全般の見直しが発生している状況です。

以上の事象を鑑み、少なくとも2020年9月期中については、新型コロナウイルス感染症の影響が続くとの仮定をおき、その影響を織り込んだうえで、2019年11月13日に公表しました2020年9月期の通期業績予想を修正いたします。

(売上高)

① インフルエンサーサービス

インフルエンサーサービスの売上高は、主にインフルエンサー等の投稿に応じた「基本メニュー」と、インフルエンサー等の投稿内容を二次利用する際に発生する「オプション」から構成されており、それぞれ前期実績に市場成長率等を考慮して算出した結果、1,520百万円を計画しておりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛要請に伴いクライアント企業の店頭販売の低迷や一般消費者の需要が減退することによる広告費の削減等があり、市場成長率を下回る見込みとなっております。

以上の結果、インフルエンサーサービスの2020年9月期の売上高は、予想より170百万円下回る1,350百万円を見込んでおります。

② SNS アカウント運用

SNSアカウント運用の売上高は、月々のサービスに対する対価として支払われる「月額費用」、新規取引開始時に現状の分析や運用方針の策定に対する対価として支払われる「初期費用」、SNS アカウントに投稿する画像等の撮影や制作に係る「オプション費用」から構成されており、前期実績に基づいて合理的に算出された契約件数に直近の販売単価を乗じて算出した結果、435百万円を計画しておりました。契約件数については、想定より伸び悩んでいるものの、販売単価については、月額単価の上昇や企画やクリエイティブ等のオプションが増加する見込みとなっております。

以上の結果、SNSアカウント運用の2020年9月期の売上高は、予想より5百万円上回る440百万円を見込んでおります。

③ インターネット広告代理販売

インターネット広告代理販売の売上高は、自社で運営するサービスの販売に付随して他社の広告を代理販売しており、過去3年の実績を考慮して算出した結果、1,100百万円を計画しておりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、広告主の広告費全般の見直しが発生しております。

以上の結果、インターネット広告代理販売の2020年9月期の売上高は、予想より28百万円下回る1,072百万円を見込んでおります。

④ 株式会社 glamfirst

株式会社glamfirstの売上高は、Instagramを通じた広告・マーケティングに特化しており、545百万円を計画しておりました。しかしながら、主要顧客が当社の運営するインフルエンサーサービスへシフトするとともに、主要顧客の売上減少や広告費削減により売上低迷しておりました。そのため、当社は、昨今の顧客動向を鑑み、グループでの更なるシェア拡大、経営の効率化並びに経営資源の有効活用を目的に、2020年8月1日を効力発生日として、株式会社glamfirstを吸収合併いたします。

以上の結果、株式会社glamfirstの2020年9月期の売上高は、予想より357百万円下回る188百万円を見込んでおります。

(営業利益)

販売費及び一般管理費につきましては、積極的な事業展開や中期的な成長実現のために当初の計画通りの予算執行を行う予定です。そのため、2020年9月期の営業利益は、売上高の減少要因を反映させた結果、予想より300百万円下回る200百万円を見込んでおります。

(経常利益)

営業外費用につきましては、主にオフィス移転に伴い利用不可となる資産について早期償却が発生したため、2020年9月期の経常利益は、予想より310百万円下回る190百万円を見込んでおります。

(当期純利益)

特別損益につきましては、発生の予定はないため、2020年9月期の当期純利益は、予想より205百万円下回る130百万円を見込んでおります。

(2) 個別業績

売上高は、SNS アカウント運用やインターネット広告代理販売の寄与により前期実績を上回るものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う顧客のリアルイベントの延期または中止によるインフルエンサーサービスの成長鈍化及び積極的な人材採用による人件費の増加等より、営業利益、経常利益ともに前期実績を下回る見通しです。

当期純利益につきましては、2020年8月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社 glamfirst を吸収合併することに伴い抱合せ株式消滅差益(約205百万円)を計上する予定のため、前期実績を上回る見込みです。

なお、当該抱合せ株式消滅差益につきましては、連結上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(業績予想について)

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上